

## 吉野川しおまねきマップ



## JR鉄橋下流干潟

夏場にはヨシ原の前面にイセウキヤガラの大好きな群落が見られます。ヨシ原にはヨシダカワザンショウやヒロクチカ/コなど貴重な巻貝が生息しています。下流側のシオカグの群落周辺にはシオマネキもたくさんいます。

北岸・吉野川橋上流ワンド  
ワンドの周りの砂地にはヤツシジマやハマグリ、マテガイなどの貝が棲んでいます。縄でくくったエビの仲間がいろいろ見つかります。ヨシ原の中の池とそれをつなぐ水路にもクロホシマンジュウダイなどの魚やチゴイカガニ、コギリガザミなどのカニ類が生息しています。

波しお跡の石碑が建てられています

池

吉野川橋  
石積みの護岸

千本杭渡船場跡

吉野川大橋  
新吉野川大橋

阿波しらさぎ大橋

マリンピア人工海浜



## 南岸・吉野川橋下流干潟

古い石積み護岸が残る場所にはフタバカワガニやヒメケサソイガニ、メナシトマガニなどが多く見られます。ハクセンシオマネキやベンケイガニ類も多く生息しています。石積み護岸の後方に砂泥が溜まった干潟やヨシ原が形成されていて、水際から後背地までの連続性が保たれています。

## アリアケモドキの場所

泥質の干潟ではヤマトオサガニやチゴガニが間近で観察できます。干潟の中を流れる水路にはアリアケモドキやムツハリアケガニなど希少種が多くいます。本流側の干潟に出ると砂泥質になり、ヨコヤアナジャコの巣穴がたくさんあります。

## お不動さん前

砂質の中洲の周囲には絶滅危惧種のヒガタヌカリムシがたくさん生息しています。砂泥質の干潟にはコメツキガニやオサガニ、ヤマトオサガニ、がたくさんいます。ウェービングでベンザイするヒメヤマトオサガニも見ています。護岸には汽水域を特徴付ける海藻アヤギス、ホソアヤギスが見られます。

## グラウンド中央船着場

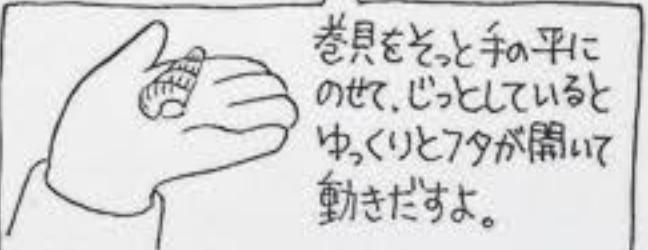
船着場の周辺にはシオマネキやハクセンシオマネキ、メタガニ、コメツキガニ、ヤマトオサガニなど多様なカニ類が生息しています。ヨシ原の地盤の高い部分にはウモレベンケイガニやクリロコミミガイ、ヨシカワザンショウなどの希少種が多く生息しています。ハマガニの巣穴もたくさん見られます。

## 住吉干潟

ヨシ原にはシオマネキやクシテガニ、アンハガニなどが多く、トビハゼも近くで見られます。ヨシの根元をよく見るとヒロクチカ/コやトヘナタリ、カワザンショウザイの仲間がいます。グラウンドから流れ込む水路は塩分濃度が低いのでスジアオリなどの汽水域を特徴付ける海藻がたくさんっています。ヨシ原の外側の干潟にはヨコヤアナジャコやヒメスナモガリが高密度で生息しています。その巣穴に共生する生物も豊富に見つかります。干潟の少し高い砂地にはスナガニがたくさん巣穴を掘っています。

ヨコエビ  
巻貝  
ゴカイ  
カニの幼生

目の細かいフレイで水際の砂泥をふるってみると、小さな生きものが見つかるよ。



夏場の観察には熱中症と日焼け対策をお忘れなく。



堤防の上からバードウォッチング!  
シギやチドリなど、四季折々いろんな鳥が見られます。干潟まで距離があるので双眼鏡があるとGoodです。

